

事案名	千葉県・千葉市（旧陸軍演習場）の事案（千葉県 12 - 6 - 1）
フォローアップ調査資料	<ul style="list-style-type: none"> ・『千葉日報』昭和37年8月24日〔1〕 ・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査依頼について（回答）」平成15年10月15日〔6〕
追加資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「『国内における毒ガス弾等に関する調査』の調査依頼について（回答）」〔A1〕 ・旧軍毒ガス弾等についてのアンケート調査結果（元陸軍習志野学校第3中隊・伍長）〔A2〕 ・証言（元陸軍習志野学校第3中隊・伍長）〔A3〕 ・「国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会（第8回）」資料8〔A4〕 ・証言（元農場関係者）〔B1〕
平成15年度フォローアップ調査報告書の要約	<p>千葉県千葉市においては、昭和37年にイペリット弾9発が発見され、そのうちの1発を解体した運転手2名が被災している。</p> <p>発見・被災・掃海等処理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和37年8月21日に、千葉市の旧陸軍演習場跡地から住民が掘り出した迫撃砲イペリット弾9発のうち1発を譲り受けた運転手2名が、佐原市で解体して被災した〔1〕。 <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉市の旧陸軍演習場跡地は農場になっており、過去に不発弾の発見事案がある。農場には灌漑用の井戸が一本あるが、飲料水は県営水道を利用している〔6〕。
新たな情報	<p>廃棄・遺棄情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山口42連隊（後に110部隊）から分遣兵として昭和20年7月に習志野学校に派遣された初年兵は、「終戦後に配属先の習志野学校から上官とともに軍用トラックにより、下志津演習場へ行き、毒ガス弾の処理を行った（1日のみ）。処理方法は、迫撃砲12門（間隔約50m程度）を扇状（確実ではない）に並べ、連続して発射した。爆発は起こらず、地面にめり込ませる状態で処理した。発射した砲弾には色付の鉢巻塗装は無かった。迫撃砲の到達距離は、火薬を1つしか入れなかったため、あまり遠くまでは飛ばしていない（射程500m程度であった）。着弾目標は、定めていなかった。処分した場所については、土地勘もなく目印がないため不明。ただし、処理作業をしていると右手の方で盛んに飛行機の離着陸が見えた（距離不明）。また、右手後方（距離不

	<p>明)では、地面に溝を掘ってドラム缶の液体を流し込む作業が見えた。習志野学校内で古兵が3000発を処分すると話していたのを聞いた。毒ガス弾の名称は、イペリットとルイサイトという種類と聞いた。処分に要した日数は不明。また、ガス弾の訓練によりやけど状の症状を負った兵士を複数見た」と証言している〔A1〕。</p> <ul style="list-style-type: none"> 元習志野学校の伍長(第3中隊)は、伝聞情報として、「2中隊の自動砲たまは志もしず原に打ち込んだ由」と記しているが〔A2〕、これについては、当時同僚から迫撃砲(毒ガス弾)を廃棄するため下志津原の沼に撃ちこんだと聞いた、と証言している〔A3〕。 <p>発見・被災・掃海等処理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 元農場関係者は、昭和37年当時、花瓶にすると行って弾を持ち帰った人が被災したことは記憶しており、また、自分が在職していた当時は農場からしばしば弾(爆片ではなく弾そのもの)が出土していたがそのほとんどは信管のないものばかりで、信管も畑の中に散在していたと証言している。さらに、農場から出た弾は、中身が空のもの・液体が入ったもの・粉が入ったものの3種類あり、農場周辺に戦後入植した旧軍兵士に弾を見てもらったところ、液体や粉が入った弾が毒ガス弾であり、液体が入っているものは危ないと言われた、と証言している。そして、液体の入った弾の帯については、弾に黄色もしくはオレンジ色のような帯がついていたことを記憶しているが、粉が入った弾の帯の色については記憶にないとも証言している〔B1〕。
<p>環境調査の結果</p>	<p>地下水・大気(表層ガス)・土壌調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成16年度に、毒ガス弾等の発見情報に係る農場及びその周辺において22地点の地下水調査を実施した結果、毒ガス成分は検出されなかった〔A4〕。 平成17年度に、毒ガス弾等の発見情報に係る農場とその周辺における17地点の大気調査及び同農場内での491地点(55検体)の土壌調査を実施した結果、毒ガス成分は検出されなかった(資料3-1の「別表B/C事案及び新規事案に係る環境調査の結果一覧表」参照)。